

2018年5月30日

三原市長 天満祥典様
三原市議会議長 仁ノ岡範之様
三原広域市町村圏事務組合 管理者 天満祥典様

命と未来を考える会みはら
住みよい環境を求める三原市民の会

質問及び要望書

- ① 消えたアルミ缶問題を警察だけに任せないで、管理者である三原市としても、きちんと原因究明に努めてください。そのためには、アルミ缶問題が解決するまでは、不燃物処理工場の建設はしないでください。
- ② 市長は「現在施設の設備の脆弱性が明らかになった。一時も早い新設移転が必要」と2017年6月12日の全員協議会で明言されました。
消えたアルミ缶問題が解決されないまま、同じ管理体制であれば、また同じ問題が起これえます。アルミ缶問題が解決するまで、不燃物処理工場の新築を進めないでください。
- ③ 不燃物処理工場の更新は長年の課題とのことですが、2017年に予算化もされないまま、突如人件費の流用をして基本構想の委託をしたと聞きました。なぜそのように急ぐのか理解できません。ゴミの問題は、きちんと市民や議会に働きかけて総合的に議論をしなければ、新しい処理場を作っただけでは解決はされません。設計図もないままに予算を通すという、その緊急性の根拠はどこにあるのか、説明を求めます。
- ④ 不燃物の処理においては、分別を徹底することが大切な要素です。約30億円もかけて移転新築するよりも、まず分別などの市民合意を行うことが先決ではないでしょうか。三原市の人口が減少し税収も減っていく中、大型の施設ばかりを作らず、既存の物を工夫する施策を考えて欲しいです。約30億円もかけて移転新築する理由を教えてください。

6月25日までにご回答頂ければ幸いです。

「命と未来を考える会みはら」

三原市高坂町真良 1015 坂本圭子

「住みよい環境を求める三原市民の会」

三原市小泉町 4850 岡田和樹